

● 診療科の特色

1. 当院の救急科は病床を持たない「ER 型救急」である。Walk-in および救急搬送されてくる患者に対して初期診療を行い、入院加療は各診療科に依頼している。
2. 成人患者には、平日日勤帯は主に救急専従医(内科系)、内科系および外科系救急当番、初期研修医が状況に応じて対応している。小児救急患者には、小児科の救急担当医が対応している。夜間・休日は主に内科系、外科系、および小児科の日・当直医がその役を担っている。
3. 救急専従医は 1 名のみであるが、総合診療科、神経内科、外科、小児科のサポートドクターとともに救急外来における診療と研修医教育を行っている。
4. 研修医に対しては内科系医師の協力の下、診療終了後に当日の診療内容に対する振り返りを行い、診療能力の向上を図っている。

● 診療実績

1. 救急患者受入実績

救急外来受診患者数	19906 名
救急車搬入台数	3515 台
救急入院患者数	5682 名

2. 主要疾患群患者数

(院外心肺停止は救急外来での死亡確認を含む。他院で診断され、転院搬送された症例を含む。)

	疾患	患者数
1	外傷(頭部外傷を含む)・骨折	490
2	急性脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など)	250
3	心不全	114
4	院外心肺停止	38
5	急性冠症候群(急性心筋梗塞、不安定狭心症、冠攣縮性狭心症)	129
6	消化管出血	49
7	重症呼吸不全	32
8	腎不全(急性腎障害、慢性腎不全急性増悪)	35
9	敗血症(敗血症性ショックを含む)	21
10	大動脈疾患(急性大動脈解離、大動脈瘤破裂)	28

その他の救急疾患として、気管支喘息 434 件、気胸・血胸 45 件、急性虫垂炎 72 件、胆道疾患(総胆管結石・閉塞性黄疸・胆管炎) 71 件、胆のう炎 49 件、消化管穿孔 23 件、急性膵炎 39 件、マムシ咬傷 34 件、髄膜炎・脳炎 42 件、重症アレルギー・アナフィラキシー(ショックを含む) 100 件、静脈血栓塞栓症(肺塞栓症、深部静脈血栓症) 9 件、誤嚥性肺炎 139 件など

3. その他

- 1) 新規採用初期研修医に対する一次救命処置研修開催(2回)
- 2) 放射線科技師対象一次救命処置講習
- 3) 臨床検査科技師対象一次救命処置講習(PUSH講習会)
- 4) 中国四国ブロック放射線科一次救命処置研修
- 5) インストラクター活動(指導者としての救急講習会参加、救急講習会開催、インストラクター資格取得)
 - a) インストラクターとしての講習会参加: AHA-BLS コース 1回、AHA-ACLS コース 4回、JMECC 3回、JMECC 指導者講習会 3回、AMLS コース 3回)
 - b) 講習会開催: JMECC 2回、ICLS コース 4回、AHA-ACLS 3回、PUSH 講習会 2回、AMLS コース 1回、T&A マイナーエマージェンシーコース 1回
 - c) インストラクター資格取得: PUSH 認定インストラクター
- 6) プライマリカンファレンスにおける研修医指導(毎週金曜日 7時30分～8時)
- 7) エピペン®講習会開催
- 8) 岡山市消防局 救急救命士就業前教育 受入(1名)
- 9) 救急救命九州研修所 救急救命士養成課程(後期) 臨床実習 受入(1名)

● 研究業績

1. 講演

- 1) 副作用発生時の対応と一次救命処置

宮地克維

令和元年度中国四国グループ内診療放射線技師スキルアップ研修会, 2019年9月7日, 国立病院機構岡山医療センター